

美郷町に技能実習生が来町します。

7月7日（木）、美郷町にバリ島マス村から4名の技能実習生が来町します。コロナ禍で、来日が2年遅れとなりましたが、この度ようやく美郷町に来町することができました。下記の日程で技能実習生歓迎セレモニーを開催しますので、報道各社の皆様も、是非お越しください。

当日は、バリ島マス村村長からのL I V Eメッセージのほか、町内神楽団による演目披露もあります。

【セレモニー】

日時：令和4年7月7日（木）午後6時30分

場所：みさと館ホール（美郷町役場横）

内容：町長、議長あいさつ

美郷町国際友好協会会長歓迎の言葉

バリ島マス村ユダ村村長あいさつ（マス村現地からWEB接続）

神楽上演：都神楽団「大蛇」



★美郷町とバリ島マス村との交流と技能実習生受け入れまでの流れ

- ・1993年に友好協定を結び、来年で30周年
- ・長い間、美郷町民やバリ島高校生などがお互いの国を往来するなど、民間交流が続く。
- ・全国的に不足が慢性化し、美郷町も例外ではない中、2019年、マス村村長が美郷町を訪れた際に、「技能実習生の受け入れに関する協定」を締結（バリ島に特化した人選、教育の支援、日本での生活支援）
- ・2020年より、本格的に技能実習生の受け入れに関する協議を開始し、人選・日本語教育等の開始
- ・コロナ禍により、技能実習生の来日延期となっていたが、この度ようやく実現

※なぜバリ島に特化した受け入れなのか

- ①人材をバリ島に特定することで、悪徳ブローカーの介在を排除し、失踪や悲惨な労働環境へ送られることを防止することができる。
- ②友好関係地からの受入を、行政主導で行うことにより、文化・風習の違いによるトラブルの未然防止や、トラブルの際の速やかな対応を、バリ島の行政と協力して行うことができる。
- ③多言語対応する必要がなく（バリ島はインドネシア語）、行政コストの縮減ができる（多くの通訳者を必要としない）
- ④バリ島の人であれば、町民が良く知っているため、非常に親しみがあることから、地域に馴染みやすい。

【お問い合わせ先】

美郷町役場 企画推進課

電話 0855-75-1924 FAX 0855-75-1218